

千里ライフサイエンスフォーラム開催のお知らせ

2024年2月フォーラム(第364回)

- **開催日時**：2024年2月5日(月) 18時00分～19時00分
※終了後19時00分～20時00分に懇親会を実施します。
- **開催形式**：千里ライフサイエンスセンタービル6F 千里ルームAにて会場参加と講演収録。後日約1カ月録画配信
- **配信対象**：千里ライフサイエンスクラブ会員(年会費2,000円)
会員以外の皆様にもお申込みいただければ3日間限定で録画配信
- **講師**：中埜 良昭 先生
東京大学生産技術研究所 教授
国立研究開発法人 防災科学技術研究所 兵庫耐震工学研究センター センター長
- **テーマ**：建物の地震対策 ～過去の地震被害から学ぶ～
- **講演要旨**：

1923年関東地震から100年が経過しました。この地震を契機に、日本では初めて耐震規定が建物の設計に導入されるとともに耐震工学を通じた建物の耐震化対策がスタートしました。その後も被害地震を経験し、その教訓を通じて我が国の地震対策は発展してきましたが、比較的近年においては、とりわけ1995年兵庫県南部地震(阪神淡路大震災)は我々に様々な教訓を投げかけ、その後の耐震化対策や学術の進展に大きく影響を与えました。

本講演ではこの100年の代表的な地震被害とその特徴を紹介するとともに、兵庫県南部地震を契機に大きく進展した既存建物の耐震化対策、耐震設計の考え方、またこの地震を契機に設置・運用が開始された世界最大の震動破壊実験施設(兵庫耐震工学研究センター：略称 E-ディフェンス)での実験事例などを紹介することで、主として我が国が歩んできた建物の耐震化対策の歴史を振り返り、地震被害を通じてどのように建物の耐震化対策が進んできたかを紹介します。

● **講師プロフィール**：

学歴：東京大学工学部建築学科卒業、東京大学大学院工学系研究科博士課程(建築学専攻)修了(工学博士)

職歴：東京大学生産技術研究所 講師・助教授・教授(副所長・所長)を経て現在に至る
防災科研 兵庫耐震工学研究センター長を兼務

専門分野：建築耐震構造学

主なる著書：『地震防災のはなし-首都直下地震に備える-』(分担執筆, (株)朝倉書店), 『2001年改訂版 既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準』(分担執筆, (一財)日本建築防災協会) ほか

主なる講演テーマ：国内外の地震被害, 建物の耐震化対策, 対津波対策, 震災建物の被災度判定 ほか

参加対象/参加費：千里ライフサイエンスクラブ会員(年会費2,000円)/ 無料

録画配信希望のお申込はご不要です。

会員以外の皆様にもお申込みいただければ3日間限定で録画配信

録画配信の準備が整い次第、視聴方法の案内メールを送らせていただきます。

申込先：公益財団法人千里ライフサイエンス振興財団「千里ライフサイエンスフォーラム」担当

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町1-4-2 Tel：06-6873-2006 Fax：06-6873-2002

E-mail：srlf-forum@senri-life.or.jp (HP：<https://www.senri-life.or.jp/>)